

BLACK+ DECKER

TM

取扱説明書

マルチフードキーパー

VC100



安全上のご注意

P2~P3

使う前に

各部の名称 P4

充電の手順 P5

使い方

P6~P12

その他の情報

P13

仕様

P14

保証書

P15~P16

このたびはブラック・アンド・デッカー「マルチフードキーパー」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。

この取扱説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただく為に、ご使用前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。この取扱説明書は、本製品をお取扱いの際に、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う危険性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は、気をつけていただきたい、「注意喚起」の内容です。



警告

・お子様がおもちゃにしないように注意してください。
本製品をお子様か、あるいはお子様のそばで使用される場合、常に細心の注意を払ってください。

・適切な格好で作業してください。
髪の毛、弛んだ衣服、または身体の一部が可動部分に触れないようにしてください。

・高温の状態の物質に対し、使用しないでください。
燃えているものもしくは煙の出ている状態の物質（例：吸いかげのタバコ、マッチ、燃えかけの灰）に対し使用しないでください。

・充電電池の端子間を絶対にショートさせない。
充電電池の端子部に金属物を接触させないでください。発煙、発火、破裂等の恐れがあります。

・充電電池/本体を高温になるところに放置しない。
液漏れ・発熱・発火・破裂・変形につながります。

・充電器は交流100ボルト以外では使わない。
昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機を使用したりすることはしないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。

・充電器、充電電池が損傷した場合には使用しない。
火災・感電につながります。

・危険物に対し使用しないでください。
爆発物、可燃性や中毒症状を起こす物質や液体（ガソリン等）に対し使用しないでください。

・電源コードを乱暴に扱わないでください。
コードの部分を持って運んだり、コンセントから外す際にコードを引っ張ったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードに熱いものや、油、薬品類を接触させたり、鋭利なものでキズ付けたりしないよう注意してください。万一、誤ってキズを付けた場合は、その箇所に触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。傷ついたコードは火災を引き起こす危険があります。危険を回避するために、ブラック・アンド・デッカーで修理してください。

・次の場合は、必ずスイッチを切ってください。
①お手入れや点検。
②アクセサリーの取り付けや取り外し。
③その他危険が予想される場合。

・指定の付属品、アタッチメントを使用してください。
使用を推奨していない付属品やアタッチメントの使用は危険をとまなうことがあります。

・スイッチがオンできない、あるいはオフできない場合は、使用を中止してください。
お買い上げいただいた販売店へ修理を依頼してください。

・損傷した電源コードの修理は、有資格の技術者が行わなければなりません。
本製品の内部には、お客様が修理できる部品はありません。お客様が本製品の分解を試みた場合、保証が無効になるだけでなく、本体が重大な損傷を受けたり、お客様が重傷を負う危険があります。

・本体を高温になるところに放置しない。
発熱・発火・破裂・変形につながります。

・分解・改造・修理は絶対に行わない。
けがや感電事故につながる恐れがあります。

・ご使用前に、損傷部品を点検する。
本体やその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されることを確認してください。

・電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不十分だと、感電事故につながる恐れがあります。

・電源プラグに付いたほこりなどは乾いた布で拭き取る。
電源プラグにほこりやゴミが付いたまま使用すると、発熱・発火につながる恐れがあります。



注意

・水や液体に浸けしないでください。
濡れた手でプラグや本製品を扱わないでください。また、モーター駆動部分をけがして水や液体に浸けしないでください。

・本製品は屋内のみで使用する。
本製品を濡れた場所や、散らかった場所では使用しないでください。特に水まわりでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。感電の恐れがあります。

・明るく清潔で、安全な場所で作業する。
散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。

・適切な服装で作業する。
そで口の開いた服装や宝石類を身に付けて作業しないでください。本製品の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。

・使用していない本製品は、安全な場所に保管する。
お子様や初心者の方の手が届かないところに保管してください。本製品はお子様や初心者の方には大変危険なものです。

・本製品に無理な力をかけない。
本製品は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、適した速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。

・本製品を駆動させたまま、台や床などに放置しない。
けがの原因になります。

・作業にあった本製品を使用する。
指定された用途以外には、ご使用にならないでください。

・無理な姿勢で作業をしない。
常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。

・使用後は常に手入れをする。
ハンドル部や握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油などが付かないようにしてください。

・たこ足配線はしない。
感電や火災の恐れがあります。



警告

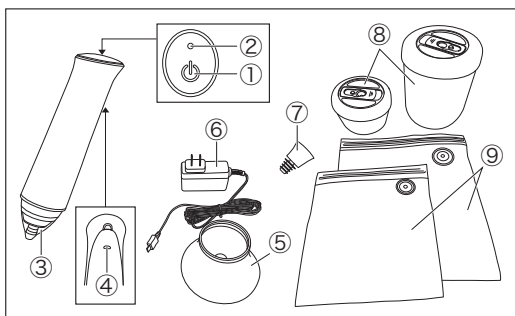
充電機パックと充電器に関する安全上の事項

- 充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。充電器の電圧は定格銘版に記載されています。
- 充電器は屋内のみで使用してください。また、充電器を濡れた場所や、散らかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くで使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
- 充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、使用せず新しいものと交換してください。
- 充電器が落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、ブラック・アンド・デッカー認定サービスセンターにお持ち込みください。

- 充電パックを開ける試みは絶対にしないでください。** 充電パック本体にひびやキズ、へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- 周囲温度が+4℃以下、及び+40℃以上のときは電池の充電を行わないでください。** これは電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- 充電パックがひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。** 充電パックが火の中で爆発する恐れがあります。
- 適度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電パックから発生することがあります。**
もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は：
 - ・石鹸と水でただちに洗い落としてください。
 - ・電池液が目に入った場合は、ただちにきれいな水で十分洗い流してから、ただちに医師の診察を受けてください。
- 充電は専用の充電器のみで行なってください。** 誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電パックを加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電パックを充電してください。
- 専用の充電パックでのみ本製品をご利用ください。** 他社製の充電パックでの本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電パックでのみ、本製品をご使用ください。
- 充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。**
- 充電は電源プラグをコンセントに差し込んでご使用ください。**
- 濡れた手で、電源プラグをコンセントに差し込むのはおやめください。** 感電の恐れがあります。

使う前に

製品をご確認ください
各部の名称



- ①スイッチ
- ②充電ランプ
- ③ノズル
- ④充電器差込口
- ⑤スタンド
- ⑥充電器
- ⑦ワインストッパー：2個
- ⑧コンテナ
(大1200ml：1個、小300ml：2個)
- ⑨真空バック袋
(大250mm×280mm：2枚、
小200mm×220mm：2枚)



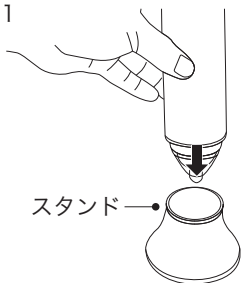
警告

充電機パックと充電器に関する安全上の事項

- 本製品は一般家庭用の電化製品です。業務用としてのご使用はおやめください。
- 取扱説明書の記載されている用途、または能力以上の作業に使用しないでください。発煙・発火など思わぬ事故の原因となります。
- 使用中は本体を確実に保持してください。確実に保持しないと、けがの原因となります。
- 使用中に本製品の動きが悪くなったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチをオフにしてください。使用を中止し、お買い上げの販売店に点検を依頼してください。そのまま使用を続けると、事故の原因となります。
- 落とす・ぶつけるなど、本体に強い衝撃を与えないでください。誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、本体に破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、事故の原因となります。
- ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所では使用しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
- 紙類や布類、畳、カーペット、ビニールなどの上や、綿ぼこりなどほこりが多い場所では使用しないでください。火災の恐れがあります。
- 定格の連続使用時間は約3分です。連続使用時間を超えたら、いったん使用をやめ、モーターの熱を冷ましてください。十分に冷めたことが確認できたら、使用を再開してください。
- 高温になる場所、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所に保管・放置をしないでください。故障の原因となります。
- 使用後はお手入れをし、乾燥させてから保管してください。

充電の手順

図1



◆ 充電のしかた

- (1) 図のように、スタンドを水平な場所に置き、本体をスタンドに立て、充電器の電源コードを本体の充電器差込口に差し込んでください。
- (2) 充電器をコンセントに差し込んでください。
- (3) 正しく接続されると、充電ランプが緑色に点灯し、充電が開始します。充電ランプが点灯しない場合は、接続されていないことを意味します。
しっかり、充電器や電源コードを接続し直してください。
- (4) 充電は2時間半ほどで完了します。完了しても充電ランプは消灯しません。充電が完了したら、電源コードを本体から取り外してください。
充電中は、スイッチを押しても動作しません。

充電器差込口



充電差込口は上下非対称になっております。上下の向きを確認して、充電コードを差し込んでください。向きがあっていない状態で無理に差込まないようにご注意ください。



充電は必ず付属の充電器を使用ください。同じ形状の他社や他の製品の充電器を使用すると故障破損の原因となります。

◆充電時間/回数

- ・ 充電電池パックは約2時間半でフル充電されます。
- ・ 充電電池パックは、約300回放充電が可能です。

◆充電がうまく行なわれないときは

- 1) 電源コンセントに電灯などの他の電気器具を接続して、コンセントまで電気が来ているかを調べる。
- 2) 周囲温度が+4℃以上、および+40℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。
- 3) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げの際のレシートなどと一緒にご持参の上、ご相談ください。

⚠充電上の注意事項

- ・ 充電電池パックを初めて充電するとき、または長期間使用していなかった後に充電するとき、約80%の容量しか充電されません。放電と充電を繰り返すと、充電電池パックは満充電できる様になります。
- ・ 充電中、充電器と充電電池パックは触れると暖かく感じられます。これは正常な状態であって、問題はありません。
- ・ 作業中に本製品の作業量がおちてきた場合、充電電池パックを再充電してください。充電電池パックの力が弱くなった状態で作業を続けしないでください。

使い方

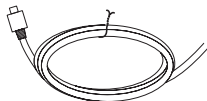
充電ケーブルの取り扱いについて

充電ケーブルは、下記の内容を守って正しくご使用ください。誤った取り扱いは、断線やショートの原因となります。

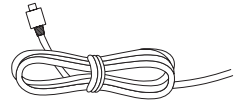
- ・ 充電ケーブルを本体に巻き付けない。
- ・ 充電ケーブルをきつく束ねたり結んだりしない。
- ・ 充電ケーブルをドアなどで挟まない。
- ・ 充電ケーブルをねじらない。
- ・ 充電ケーブルの上に物を置かない。
- ・ 充電ケーブルを引っぱってプラグを抜かない。
- ・ 充電ケーブルを過度に曲げない。



コードはゆったりと束ねます。



充電ケーブルをきつく巻いたり結んだりしない。



食品別の使い分けについて

保存したい食品等	使用するもの	ページ
<p>肉や魚</p>  <p>硬めの野菜・果物（かぼちゃ、リンゴ等）</p> 	<p>真空パック袋</p> 	<p>P.8 ~ P.9</p>
<p>柔らかい食品（桃、いちご等）</p>  <p>液状のもの（シチュー等）・粒状のもの（コーヒー豆等）</p> 	<p>コンテナ</p> 	<p>P.10</p>
<p>ボトルに入った、飲みかけのワインなど</p>  <p>*お酢などの酸性の液体の保存にはご使用いただけません。</p>	<p>ワインストッパー</p> 	<p>P.11</p>

●保存容器のメンテナンス

真空バック袋

- ・バッグは再使用できます。
- ・使用後は食器用の中性洗剤でしっかり、洗浄、すすぎを行ってください。
- ・洗浄後はしっかりと乾燥（内・外面）させて保管ください。

コンテナ

- ・使用後は食器用の中性洗剤でしっかり、洗浄、すすぎを行ってください。
- ・洗浄後はしっかりと乾燥（内・外面）させて保管ください。

ワインストッパー

- ・使用後は食器用の中性洗剤でしっかり、洗浄、すすぎを行ってください。
- ・洗浄後はしっかりと乾燥させて保管ください。

●その他情報

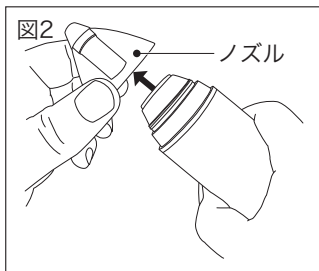
コンテナは電子レンジ対応可です。ふたを外して、ラップをかけて行ってください。

真空バック袋は直接電子レンジには入れないでください。変形の原因になります。食品の解凍や加熱を行う際は湯煎を行ってください。

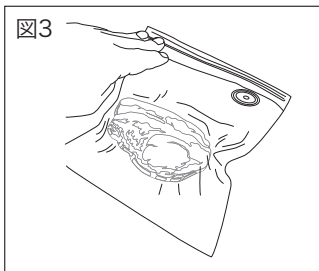
操作方法

- ・スイッチを押すと吸気を開始します。その際、充電ランプが緑色に点灯します。
- ・電池の残量が少なくなると作動中充電ランプが赤色に点灯してお知らせします。再度充電をしてください。

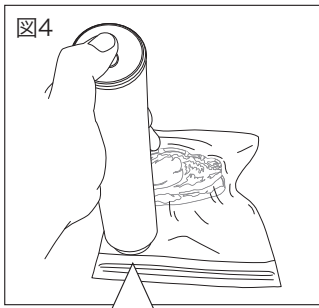
真空バック袋の使いかた



(1) 本体からノズルを取り外してください (図2)。



(2) 真空パック袋に食品を入れ、バッグの口を閉じてください(図3)。

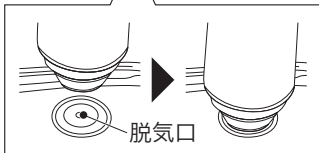


(3) バッグの脱気口に本体の吸気口を密着させたまま、スイッチを押してください(図4)。

内の空気が吸い出されていきます。脱気口にしっかり密着させて、吸気を行ってください。

(4) しぼまなくなったら、スイッチを離してください。

(5) 本体をバッグから離し、ノズルを本体に取り付けてください。新品のバッグは吸気しにくい場合があります。その際は脱気口密着度を強めてください。



保存方法のヒント

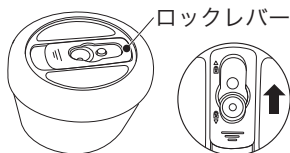
肉・魚	<ul style="list-style-type: none"> ・肉汁などの水分が多いときは、ペーパータオルで水分を取り除いてから脱気密封してください。また、ペーパータオルで取り切れないときは、あらかじめ冷凍しておくことで密封しやすくなります。 ・脱気密封することで、肉や魚の臭い移りや冷凍焼けを防止できます。また、脱気密封した肉や魚は、冷蔵庫での保管はもちろん、クーラーボックスに入れて野外に持って行くことも可能です。
野菜	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ加熱しておくことで、鮮度・色・香りなど劣化させる酵素の活動を遅らせられます。新鮮なうちに沸騰したお湯で茹でるか、電子レンジで加熱し、冷まして水分を取り除いてから脱気密封してください。 ・香りの強い野菜はガスを発生させますので、冷凍庫で保存してください。
その他の食品	<ul style="list-style-type: none"> ・米やパスタ等、とがった部分がある食品を保存するときは、クッション材としてペーパータオル等で包んでから脱気密封してください。 ・小麦粉や粉末状のコーヒー等を保存するときは、コンテナを利用してください。

⚠ 注意

かどのある箱状のパッケージごと脱気密封すると、真空パック袋に穴が開くことがあります。かどのない容器に中身を移し替えて真空パック袋で脱気密封するか、コンテナを利用してください。

コンテナの使いかた

図5



- (1) コンテナのふたを開き、食品を入れてふたをしっかりと閉じてください。
- (2) ロックレバーをロック (🔒) 側にスライドさせてください (図5)。

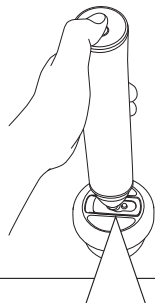


吸気準備OK / 保存



ふたを外す

図6



- (3) コンテナの脱気口に本体のノズルを密着させたまま、スイッチを押してください (図6)。コンテナ内の空気が吸い出されていきます。インジケーターがふたの面まで下がったら、スイッチを離してください。作動時間はP.12最大真空度時間目安を参照ください。

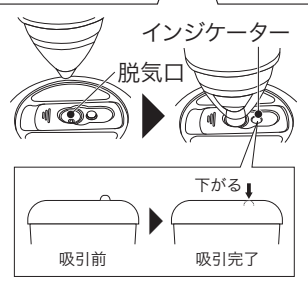


図7



◆コンテナのふたを外すとき

脱気密封している状態では、コンテナのふたは外せません。ロックレバーをロック解除 (🔓) 側にスライドさせ、図7のようにロックレバーを押し下げると、コンテナ内に空気が入り、ふたを外せるようになります。



注意

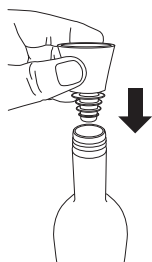
コンテナに保存した食品は、コンテナごと電子レンジに入れて加熱できます。この場合、ふたを外して加熱してください。

ワインストッパーの使いかた



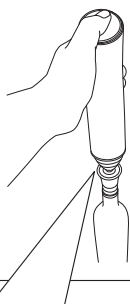
- ・炭酸飲料のびんでは使用しないでください。
- ・人肌よりも熱い液体が入っているびんの脱気は避けてください。真空に近い状態になると、気圧差の影響で突沸する場合があります。

図8



- (1) びんの口にワインストッパーを差し込んでください (図8)。
ワインストッパーは、止まるまでしっかりと押し込んでください。

図9



- (2) ワインストッパーの脱気口に本体のノズルを密着させたまま、スイッチを押してください (図9)。
びん内の空気が吸い出されていきます。脱気が終わったら、スイッチを離してください。
作動時間はP.12最大真空度時間目安を参照ください。

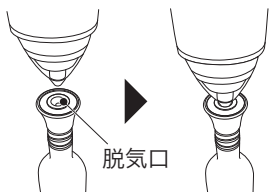
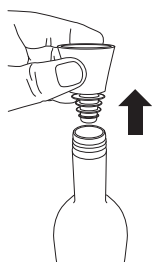


図10



◆ワインストッパーを外すとき

- 片手でびんをしっかりと持ち、ワインストッパーを少しずつ左右に振りながら上方向に引き抜いてください (図10)。
ワインストッパーは、一気に引き抜こうとせず、ゆっくりと引き抜いてください。

*ワインストッパーは瓶の形状や材質によって使用できない場合があります。

最大真空度になるまでの時間目安

最大真空率：55kPaに到達する時間の目安となります。

	コンテナ 大 1200ml	コンテナ 小 300ml	ワイン フルボトル 750ml
空の状態	55秒 (1200ml)	15秒 (300ml)	28秒 (750ml)
半分物が入っている状態	37秒 (600ml)	10秒 (150ml)	17秒 (375ml)
4分の1	26秒 (300ml)	7秒 (75ml)	9秒 (187ml)

真空度の保持期間の目安

空の状態で計測：最大真空率55kPa

	コンテナ 大 1200ml	コンテナ 小 300ml
1日	50kPa	50kPa
3日	48kPa	45kPa
5日	46kPa	40kPa
7日	44kPa	36kPa

* 真空率は食品の保持期間を保証するものではありませんのでご了承ください。

その他の情報

トラブルシューティング

本製品が動作しない場合は、次のことを調べてください。

- 充電時に充電器が正しくコンセントに接続されていますか（正常に充電されている場合は、触るとわずかに暖かく感じられます）。
- 充電器のコードが破損していませんか。また、充電器のコードを本製品に接続したままになっていませんか。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体が入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

アクセサリ

本製品の付属品は各販売店もしくはブラック・アンド・デッカーのサービスセンターにて販売しております。また、付属品についてのお問い合わせはブラック・アンド・デッカーまでお電話ください。



当社の認定しない付属品のご使用は、重大な危険をともなう可能性があります。

充電電池パックと環境



NiMH

ニッケル水素電池は
リサイクルへ

本製品に使用している充電電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

充電電池が消耗し交換が必要となった場合は、ブラック・アンド・デッカーのサービスセンターまでお問い合わせください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整はブラック・アンド・デッカーにて認定技術者が純正部品を使用して行わなければなりません。必ずお買い上げの販売店または当社までご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行いますと、事故やケガの恐れがあります。

仕 様

▽本体	VC100
電圧	直流 4.8V
バッテリー	ニッケル水素充電電池 1.2V (1Ah) ×4連
最大真空値	55kPa (0.55Bar)
定格時間	連続/最大3分
本体質量	340g
本体サイズ (本体+ノズル)	255mm×57mm×57mm (スタンド含まず)
付属品	コンテナ (1200ml : 1個、300ml : 2個) 真空バック袋 (大250mm×280mm : 2枚、小200mm×220mm : 2枚) ワインストッパー (2個)
▽充電器	Y06FE-050-0500J (VC100-JP 専用充電器)
入力電圧	単相交流100V
入力周波数	50/60Hz
消費電力	0.2A
出力電圧	直流 5V
出力電流	500mA
充電時間	約2時間半

※製品仕様及び内容は改良のため予告なく変更することがあります。

※充電器はマルチフードキーパー VC100の専用充電器です。

VC100-JPに使用されている充電電池は、ニッケル水素充電電池です。

これ以外の充電電池に充電を行うことはできません。また、充電式でない電池にも充電は行えません。

ポップリベット・ファスナー株式会社

ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22
山種池袋ビル4F

Tel: 03 (5979) 5677 Fax: 03 (5979) 5788

オフィシャルサイト

www.blackanddecker-japan.com



facebookサイト

www.facebook.com/BlackAndDecker.JAPAN

<保証規定>

保証期間：お買い上げ日より1年間

- 1) 取扱説明書や製品ラベルに記載されている注意書きに従った使用状況で、本製品が万が一故障した場合には、無償修理または新品と交換いたします。
無償修理・交換をご依頼になる場合は、以下のものを、お買い上げの販売店までご持参、またはブラック・アンド・デッカーまでご相談ください。
 - ・製品
 - ・必要事項を記入した本書
 - ・レシート(領収書)またはそのコピーお買い上げの販売店、またはブラック・アンド・デッカーまでご持参、またはご送付いただいた場合の諸費用は、お客様の負担となります。
- 2) 次の場合は、本保証書規定の対象外となり、有料の修理・交換とさせていただきます。
 - ◆本書、及びお買い上げを証明するレシート(領収書)またはそのコピーの提示がない場合
 - ◆ご家庭以外(業務用としてなど)で使用した場合の故障および損傷
 - ◆移動、落下などによる故障および損傷
 - ◆使用上の誤りや注意書きを無視した使用による故障及び損傷
 - ◆不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ◆火災・地震などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの環境による故障および損傷
 - ◆海外など、ご利用電源が100V(50 / 60Hz)でない環境でのご使用による故障および損傷
 - ◆保証期間経過後のご依頼
- 3) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 4) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 5) 本規定は、以上の保証規定により修理・交換をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※充電電池、電源、ビット、ノコ刃、サンドペーパー、掃除機フィルター、チェーン刃等の消耗品は保証の対象外です。

<アフターサービスについて>

アフターサービスに関する事項は、「アフターサービスについて」をご参照ください。保証期間経過後の修理等については、ブラック・アンド・デッカーまでお問合せください。

<個人情報のお取り扱いについて>

弊社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の住所、氏名、電話番号などの個人を識別、もしくは特定することのできる固有の情報(以下「個人情報」)を、本サービス提供目的のため、弊社ならびに弊社指定の宅配業者に提供します。お客様は、あらかじめこれに同意するものとします。また個人情報は、新製品情報、イベントのご案内、弊社製品サービスの品質向上のためにも利用させていただきます。



ブラック・アンド・デッカー 製品保証書

本書は、裏面に記載された保証規定により無償で修理・交換をお約束するものではありません。詳細は裏面の保証規定をご参照ください。

お客様記入欄	
フリガナ	
お名前	
TEL	()
ご住所	(〒) 都道 府県
製品名	型番
マルチフードキーパー	VC100
お買い上げ日	販売店名
年 月 日	
販売店住所	
TEL : ()	

ポップリベット・ファスナー株式会社
ブラック・アンド・デッカー事業部

〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-11-22 山種池袋ビル4F
TEL:03(5979)5677 FAX:03(5979)5788